

／ ライフケアサポート情報誌 ／

こもれび

K O M O R E B I



特集 「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まります



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会
済生会鹿児島地域福祉センター

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号
TEL.099-284-8250 FAX.099-284-8252
□ <http://www.saiseikai-kg.jp>

2017

vol.19

SPRING

鹿児島における済生会実践論Ⅶ

～新たな介護予防事業～

春爛漫の新年度が始まりました。

皆様におかれましてはご清栄で新年度をお迎えのことと存じます。

今年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

わが国は世界に前例のない超高齢少子社会と人口減少の進展下で、地方自治体の存続発展と社会保障制度の持続可能性の確保が当面の課題であり、その解決策の一つに地域包括ケアの仕組みづくりが進められています。

厚生労働省では地域包括ケアの仕組みを植木鉢の絵で示しています。




地域包括ケアシステムの5つの構成要素

出典：厚生労働省 平成25年3月地域包括ケア研究会報告書

これは、植木と植木鉢で表現されている5つの構成要素、すなわち「保健・予防」、「医療・看護」、「介護・リハビリテーション」、「住まい」、「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えていくことを示していますが、それを可能にする前提に「本人・家族の選択と心構え」が重要と考えられ、これを植木鉢の受け皿として表現しています。

これらが機能して初めて地域包括ケアの仕組みが成り立ち、持続可能になっていくのです。

5つの要素の中で非常に重要なことは、予防（介護予防）です。そこで国では、従来の一次・二次介護予防事業を見直し ①高齢者本人へのアプローチのみならず、地域づくりなど高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれたアプローチができるように ②年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や憩いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する ③リハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、介護予防を機能強化することを目的とし、介護予防・日常生活支援総合事業を開始しました。



済生会鹿児島地域福祉センターにおきましては生活支援サービスとして心をつなぐ訪問給食事業継続のほかに、通所介護に関しては、従来の予防型通所介護に加えて、新たに運動型通所介護、ミニデイ型通所介護サービスを、訪問介護に関しては、従来の予防型訪問介護に加え、新たに生活支援型訪問介護に取り組むこととしました。要支援1・2の方々とチェックリストで対象になった事業対象者がこれまで以上に日常生活自立の力をつけていただけるようメニューを準備しております。

済生会鹿児島地域福祉センターで取り組む介護予防・日常生活支援総合事業の特徴は、ICF(国際機能分類)に依拠し、かつ、全人的側面を配慮した介護予防支援を目指している点です。

即ち、利用者の皆様のニーズを身体的、精神的、社会的、霊的な全人的側面からとらえ、また地域の互助機能の促進等環境の側面からも捉えることを重視しています。さらに利用者の方々の自立生活機能向上、活動機能向上、参加機能向上をめざし、従来型に加えて、アロマ、ヨガ等の活用のほかに、買い物、諸催事等地域社会的活動への参加等を重視したメニューを用い、並行して済生会本部で養成している地域包括ケア連携士や、済生会鹿児島地域福祉センターで養成している地域包括ケア推進ボランティアの方々の様々な互助・利他・地域づくり活動と協働し、利用者の皆様の複合的・日常生活支援ニーズの充足をめざしています。

済生会鹿児島地域福祉センターでは、平成28年度から地域包括ケア推進ボランティアの養成講座を実施していますが、講座修了生の皆さんは全人的健康づくり・病気予防・介護予防の自助力・互助力・地域づくり力を獲得され、利他の行為を生きがいとし活動しておられます。修了生の皆さんは、新たな制度下では、地域で一般介護予防事業としてのボランティア的な取り組みのほかに、さらに、鹿児島市の2日の研修を受けることにより、済生会事業所で新制度のミニデイ型通所介護や生活支援型訪問介護の質の高い担い手となることが可能です。

このように、済生会鹿児島地域福祉センターは、全人的介護予防・生活支援のサービスの直接提供者として、またある時は地域の皆さんが介護予防活動の担い手となれるよう支援者として、皆様が要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で、自分らしい生活と人生がおくれるよう、地域の皆さんと一体となり、自助・互助・共助の地域づくりに貢献できることを目指しています。

済生会鹿児島地域福祉センターの「共に生きる地域包括ケア推進ボランティア養成講座」は今夏より第2期を開始予定です。

サービスの受け手としてだけでなく、サービスの担い手として他者の役に立ちたいと考えておられる皆様の結集をお待ちしています。

済生会鹿児島県支部長
兼地域福祉センター所長

吉田 紀子

平成29年
4月から



「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まります

団塊の世代が75歳以上になる2025年(平成37年)を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が重要な課題となっています。

鹿児島市の総人口は年々減少傾向にあり、平成37年には約58万5千人になる見込みです。高齢化率はすでに25%を超え、高齢化はさらに進み平成37年の高齢化率は29%と推計されています。高齢化の進展により要介護・要支援者の増加が見込まれる中で、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯、認知症高齢者の増加や、介護の担い手となる年少・生産年齢人口の減少が想定されています。

これらの状況を踏まえて、地域の実情に応じて住民主体の支援等、地域の支え合い体制づくりの推進により、要支援認定者等に対する効果的な支援を可能にすることを旨とする『介護予防・日常生活支援総合事業』が平成29年4月1日から開始されます。

介護予防・日常生活支援総合事業の構成

〈これまで〉

介護給付 (要介護1~5)

介護予防給付
(要支援1~2)

訪問看護・福祉用具等

訪問介護・通所介護

介護予防事業
又は介護予防・日常生活総合支援事業

- ◎二次予防事業
- ◎一次予防事業

介護予防・日常生活支援総合事業の場合は、上記の他、生活支援サービスを含む要支援者向け事業、介護予防支援事業

同様

事業移行

市町村で実施

多様化

〈平成29年4月〜〉

介護給付 (要介護1~5)

介護予防給付 (要支援1~2)

新しい介護予防・日常生活支援総合事業
(要支援1~2、それ以外の者)

◎介護予防・生活支援サービス事業

- 訪問型サービス
- 通所型サービス
- 生活支援サービス
(配食サービス)
- 介護予防支援事業
(ケアマネジメント)

◎一般介護予防事業

(出典:介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン一部抜粋・厚生労働省)

介護予防・生活支援サービス事業

対象 要支援1・2の人、事業対象者(生活機能の低下がみられる人)

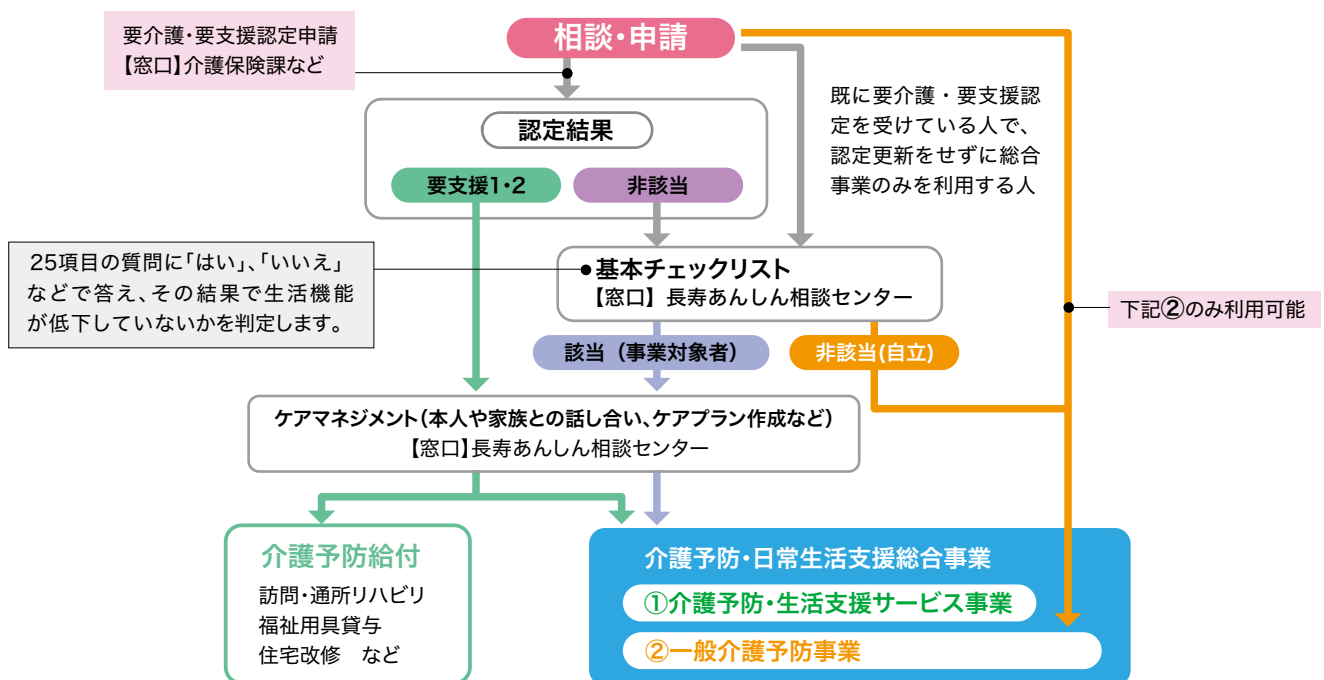
訪問型サービス	予防型訪問介護・生活支援型訪問介護・訪問型個別支援
通所型サービス	予防型通所介護・ミニデイ型通所介護・運動型通所介護・ 口腔機能向上・栄養改善

一般介護予防事業

対象 65歳以上のすべての人

住民主体の通いの場	<ul style="list-style-type: none"> ●住民が主体となって週1回以上活動する集まり。 住み慣れた身近な地域で体操を中心とした健康づくりを行います。
お達者クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ●介護予防で元気な仲間を作る集まり。 健康意識が高まるよう体操や健康講座を行います。
健康教室	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症予防やロコモ予防など、健康づくりのための具体的な方法を 紹介する健康教室を開催します。
健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ●心身の健康や介護予防などに関して、医師や保健師、栄養士などの 専門職が個別の相談に応じます。

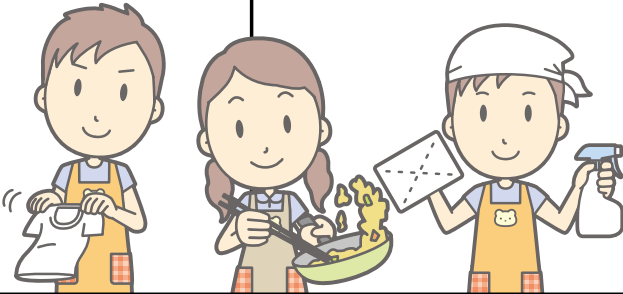
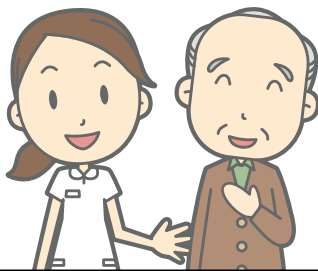
総合事業の利用までの流れ



(出典:介護予防・日常生活支援総合事業パンフレット・鹿児島市)

[ホームヘルプステーション高喜苑]

ホームヘルプステーション高喜苑では、要支援1・2(生活機能の低下がみられる方)を対象とした「予防型訪問介護事業」を実施するほか、新規事業として「生活支援型訪問介護事業」を開始します。

訪問型サービス		
<p>予防型訪問介護</p> <p>生活援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調理 ●洗濯 ●掃除 の支援など <p>身体介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食事 ●入浴 ●排泄 の支援など 	<p>生活支援型訪問介護</p> <p>生活援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調理 ●洗濯 ●掃除 の支援など 	<p>訪問型個別支援</p> <p>閉じこもり、認知症、うつ予防に関する訪問による個別支援 (長寿あんしん相談センターの保健師が実施)</p> 
<p>費用の目安(※1)</p> <p>週1回程度 1か月 11,680円</p> <p>週2回程度 1か月 23,350円</p> <p>週2回程度を超える(※2) 1か月 37,040円</p>	<p>週1回程度 1か月 9,230円</p> <p>週2回程度 1か月 18,460円</p> <p>週2回程度を超える 1か月 27,690円</p>	<p>無料</p>

※1 利用者負担は原則として上記の費用の1割または2割です。

※2 要支援1の人は利用できません。

(出典:介護予防・日常生活支援総合事業パンフレット・鹿児島市)

今回の制度では、日常生活支援として調理・洗濯・掃除等のサービスが新たにスタートします。





「予防型訪問介護事業」は、引き続き介護福祉士・初任者研修修了者などの専門職が支援を行います。が、「生活支援型訪問介護」のサービス提供にあたっては、鹿児島市が実施する「介護予防・生活支援サービス従業者研修会」の修了者での対応が可能になります。

地域の人々が自助力・互助力を発揮して互いに支え合う地域づくりを目指して、昨年度から地域福祉センターが独自で開催している「共に生きる地域包括ケア推進ボランティア養成講座」の修了者にも研修会を受講していただきスタッフと一緒に支援したいと考えています。

当事業所では、今後共、スタッフの教育・研修の充実を図りながら、利用者様の様々なニーズに対応できる事業所を目指します。

[武岡台デイサービスセンター]

武岡台デイサービスセンターは、通所型サービスとして、「予防型通所介護」「ミニデイ型通所介護」「運動型通所介護」を実施いたします。

通所型サービス				
	予防型通所介護	ミニデイ型通所介護	運動型通所介護	口腔機能向上・栄養改善
	食事などの基本サービスや生活行為向上のための支援など (現行のサービス内容と同様)	日常生活上の支援や運動・レクリエーション(3時間程度) (市が実施する研修修了者での対応可)	運動器の機能向上のための支援(2時間程度)	口腔機能向上・栄養改善に関する個別支援
				
費用の目安(※1)	要支援1、事業対象者 1か月 16,470円	要支援1、事業対象者 1か月 12,960円	1回 3,370円 ●送迎を含む	口腔 1回 4,500円
	要支援2、事業対象者 1か月 33,770円 ●送迎、入浴を含む ●食費は別途自己負担	要支援2、事業対象者 1か月 25,920円 ●送迎、入浴を含む ●食費は別途自己負担		栄養 1回 3,700円など (送迎などの有無により異なる)

(出典:介護予防・日常生活支援総合事業パンフレット・鹿児島市)

“ミニデイ型通所介護”のコンセプト

- 1 自立生活の継続の基盤を、全人的にサポート
 - ヨガ教室
 - アロマセラピー
 - 健康教室
 - 栄養教室
 - 体操教室
- 2 生活の楽しみをサポート
 - 調理
 - 介護教室
 - 陶芸
 - 買い物
 - 園芸
- 3 地域のコミュニティ機能をサポート
利用者主体の企画、活動をサポートします。
- 4 社会的役割を身につけ、社会との関わりをサポート
ボランティア、イベントへの参加、施設慰問・・・

“運動型通所介護”のコンセプト

利用者様の運動器の機能向上のサポート

- 1 日常生活の基本的活動や転倒予防のために必要な運動を実施します。
- 2 円背を予防し、正しい姿勢が保てるために必要な運動を実施します。
- 3 認知機能低下を予防するための運動を実施します。
- 4 膝痛や腰痛を改善するための運動を実施します。

※ それぞれのコンセプトを基に、利用者様の自立生活と地域との関わりをサポートします。

済生会地域包括ケア連携士研修会報告

指定居宅介護支援センター高喜苑 齋藤 愛

現在、少子超高齢社会で、人口の約3分の1が高齢者となる2025年問題を目前にし、様々な課題が浮き彫りになってきています。

済生会は“地域包括ケアシステム”の構築を目指しており、その取り組みの1つとして“済生会地域包括ケア連携士”の養成研修を開始しました。

初回の今年度は、全国40都道府県から101名(鹿児島からは2名)が参加しました。本会の“地域包括ケアシステム”は平成27年3月の「済生会医療福祉連携総合ケアモデル構想」報告で提言されました。対象が高齢者だけでなく、障がい者、児童、ホームレス、刑余者等生活困窮者も含むのが特長です。本会が持つ、医療・福祉・介護の資源を最大限に活用するとともに、各種機関と連携し、住まい・就労・生活支援・教育等も含め幅広いサービスを提供することを目的としています。

連携士養成研修では、医療分野における連携・支援に留まらず、児童分野・高齢分野・障がい分野等の連携・支援や、在宅における医療・福祉・介護の多職種連携、ケアマネジメントについて学びました。

厚労省からの資料では、今後、高齢者・障がい者・子どもなど全ての人々が、1人ひとりの暮らしと生きがいを共に創り、高め合う社会“地域共生社会”の実現に向けて多くの取り組みについて検討されています。また、対象者ごとの福祉サービスも“タテワリ”から“まるごと”へと転機されていきます。

地域の特性を理解し、どんな課題を抱え、必要なことは何かを分析することが重要です。総合的・一体的に、個と地域に対し、済生会としての役割を担い、また、地域づくりに貢献し、地域の皆様と一緒に“安心して暮せるまちづくり”を目指していきたいと思えます。

当センターでは、グループホーム武岡五丁目に福祉相談所を設置(毎週火曜日の13時から17時まで)しております。お気軽にお立ち寄り下さい。



第69回 済生会学会・平成28年度 済生会総会報告

なでしこ訪問看護ステーション 川畑 まゆみ

平成29年1月28日～29日にかけて横浜市で開催された済生会学会・総会に参加しました。

会場は2002年にFIFAワールドカップのメインプレスセンターとして利用され、2010年にはAPECアジア太平洋経済協力首脳会議が開催されたパシフィコ横浜国立大ホール及び会議センターでした。日本全国の済生会支部から大勢の役職員が参加しており、会場の様子は圧巻で驚きました。同時に自身が勤務する組織の大きさに身の引き締まる思いがしました。

学会では武蔵野美術大学教授の関野吉晴先生の基調講演「グレートジャーニー～辺境の保健医療事情～」を聴き、その後はそれぞれの職員が興味・関心を持ったテーマを選択してシンポジウムやセミナーに参加しました。私は看護師としての立場から認知症ケアと薬剤と転倒についての講義を受けました。緊張感の中で受けた講義は、学生時代に戻ったようで、新鮮な気持ちで学ぶことができました。

今回学会に参加するにあたって、ポスター発表を担当しました。各ブロックに分かれて一人持ち時間5分で掲示されたポスターに添って発表するのですが、周囲を取り囲まれて発表するのはとても緊張しました。時間内とにかく原稿を読み上げなければと必死でしたので、発表中は周囲はほとんど視界に入っていませんでしたが・・・。

これまでにない貴重な体験ができ、良い思い出になりました。また、他の発表内容を見学して刺激も受けました。様々な職種の視点からの意見や感想を聞くことで、視野が広がったように思います。学会に参加させていただき、学んだことを今後活かしていきたいです。

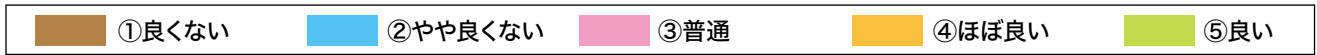


ご利用者満足度調査を実施しました

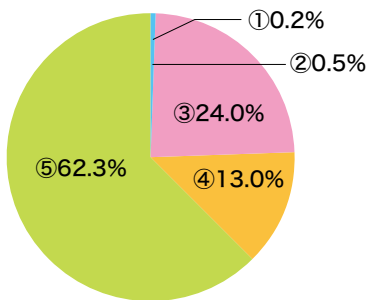
今回の調査では、全施設・事業所のサービス提供の基本となる8項目の共通項目を設定したほか、各施設・事業所独自の質問項目と、苦情・ご意見・ご要望等を自由に記載していただくスペースを設定しました。

共通項目の結果概要は以下の通りです。

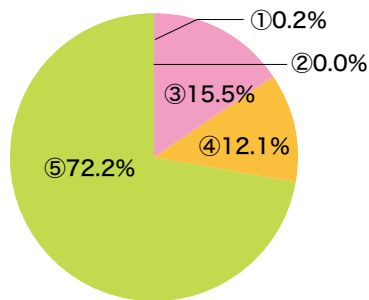
【第8回 利用者満足度調査 共通設問集計結果】



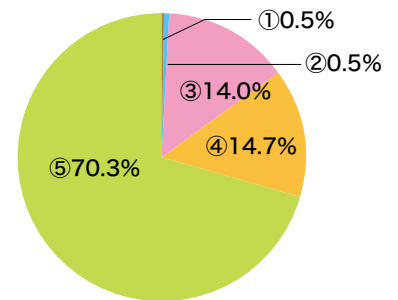
問1 職員の身なりや服装・言葉づかいなどあなたに接する態度は適切ですか？



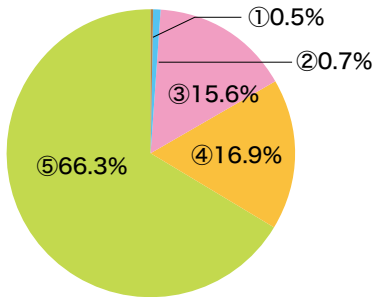
問2 職員はあなたやあなたの家族のプライバシーに配慮していますか？



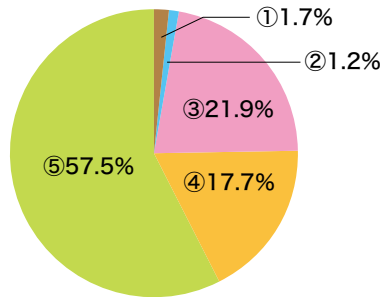
問3 職員はあなたの考え方や意向を尊重し丁寧に話を聞いてくれますか？



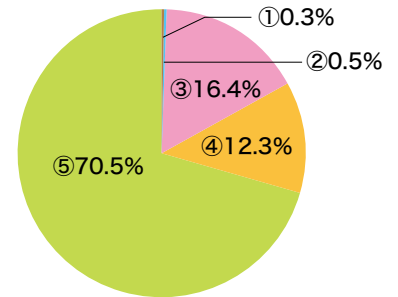
問4 職員又は法人窓口はあなたの不満や要望をちゃんと聞き、迅速・適切な対応をしてくれますか？



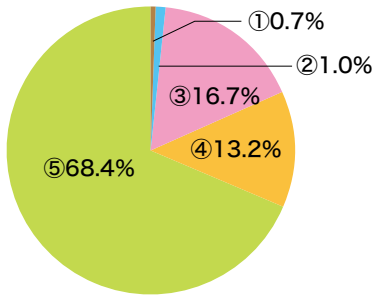
問5 職員はお互いに連携が取れていて情報が良く伝わっていますか？



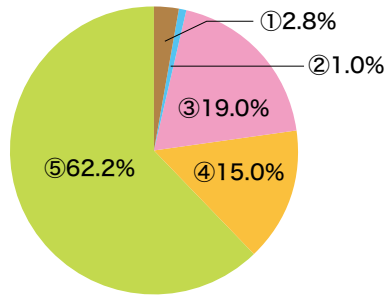
問6 職員はあなたの体調不良時や怪我などの事故が起きた時に適切な対応をしてくれますか？



問7 サービスの利用開始(入居)時に契約書やサービス内容について詳しく説明を受けましたか？



問8 あなたが今利用している施設やサービスを友人や知人に紹介したいと思いますか？



サービス向上委員会とは

サービス向上委員会は、地域福祉センターが提供するサービスの質の向上と、安全性の確保に努めることにより、ご利用者及びそのご家族の安心と満足を高め、信頼関係を構築することを目的とした活動を行っています。

主な活動は、年に1回実施する「ご利用者満足度調査」や苦情対応、接遇マナーの向上に関することです。

サービスに対する評価や苦情、ご意見・ご要望等を踏まえて改善すべき点について最善を尽くし、皆様方のご期待に沿えるよう努めてまいります。

29年度は「糸(いと)」に決定!

▶ シルバーフラット武岡台

シルバーフラット武岡台では、毎年施設のテーマソングを決めて、食事の時間に流したり、音楽倶楽部で練習を重ねて校区文化祭で舞台発表をしています。

28年度はAKB48の「365日の紙飛行機」でしたが、今年度は中島みゆきの不朽の名曲「糸(いと)」に決まりました。

1992年(平成4年)にリリースされ、ドラマの主題歌やCMにも使われたこの曲は、福山雅治や森山直太郎、つるの剛士、Bank Band、JUJUなど多くのアーティストがカバーしていますが、施設ではクリス・ハートの楽曲を選びました。

2011年3月に発生した東日本大震災によって、私たちは人の命の儚さや運命、絆についてあらためて考えさせられました。人と人との出会いやめぐり逢わせ、繋がりを縦の糸と横の糸で表したこの曲は人々の心を揺さぶり再び脚光を浴びることになりました。

**縦の糸はあなた 横の糸はわたし
逢うべき糸に出逢えることを
人は「仕合わせ」と呼びます**

曲のラストの歌詞です。「仕合わせ」には、めぐり逢わせ・幸運・幸福・運命・ことの次第・始末などの意味があるようです。長い歳月をかけて多くの「仕合わせ」の糸を紡いでこられた方々にこの曲はどのように伝わるのでしょうか。



高齢者を支援するときに援助者に求められる7つの態度についてシリーズでご紹介をさせていただきます。

3. 相手を受け入れる態度

高齢者には高齢者特有の考え方や感じ方があります。

また、各人が特有の考え方や感じ方を持っています。

それを初めから評価したり分析したりせず、専門的知識や枠組みを脇に置いて、まずは、相手があるがままに受け入れることが、高齢者を理解するうえで大切なのです。

また、専門的な知識や枠組みは高齢者に冷たい印象を与えることがあります。相手の立場に立ち、相手の言葉を使って相手の意見を尊重すれば相手の抱えている問題がよくわかります。



〈基本理念〉 「救療済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。

〈基本方針〉

1. 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
2. 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
3. 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
4. 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
5. 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

〈利用者の権利〉

1. その人格を尊重される権利があります。
2. 社会的地位・国籍・人種・宗教・性別などにより差別を受けることなく、公正・平等に介護を受ける権利があります。
3. 自分が受けている介護に関するすべての情報について知る権利があります。
4. 自分に関するすべての個人的情報を守ってもらう権利があります。

特別養護老人ホーム 高喜苑

〔介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8253 **FAX** 099-284-8252

シルバーフラット武岡台

〔軽費老人ホーム／ケアハウス〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6870 **FAX** 099-283-6871

済生会なでこの杜

〔サービス付き高齢者向け住宅〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-202-0710 **FAX** 099-283-4733

指定居宅介護支援センター高喜苑

〔指定居宅介護支援事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4737 **FAX** 099-283-4733

グループホーム武岡5丁目

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目16番23号

TEL 099-282-6081 **FAX** 099-283-3533

グループホーム武岡ハイランド

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-7231 **FAX** 099-283-7232

武岡台デイサービスセンター

〔指定通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 **FAX** 099-283-6872

デイサービスセンター 高喜苑

〔認知症対応型通所介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8254 **FAX** 099-284-8255

なでしこ訪問看護ステーション

〔指定訪問看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-281-9292 **FAX** 099-283-4733

ホームヘルプステーション 高喜苑

〔指定訪問介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 **FAX** 099-283-6876

済生会サポートセンターなでしこ

〔定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 **FAX** 099-283-6876

訪問入浴センター 高喜苑

〔指定訪問入浴介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4731 **FAX** 099-283-4733

訪問給食センター 高喜苑

〔鹿児島市委託事業所・配食事業〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-283-4730 **FAX** 099-284-8255

鹿児島県済生会

〔支部〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-210-5460 **FAX** 099-210-5560

編集 後記

施設周辺の桜も咲き始め、吹く風も柔らかな季節になりました。

1月末より感染症予防のため、利用者様への面会を制限しておりましたが、制限を解除することになりました。期間中、皆様にはご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

4月より介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、地域福祉センターでも新たなサービスが始まります。今まで以上に、利用者様が日々笑顔でお過ごしいただけるようなサービスを提供していきたいと思っております。今年度も宜しくお願いします。